

# ピースツーリズム推進懇談会

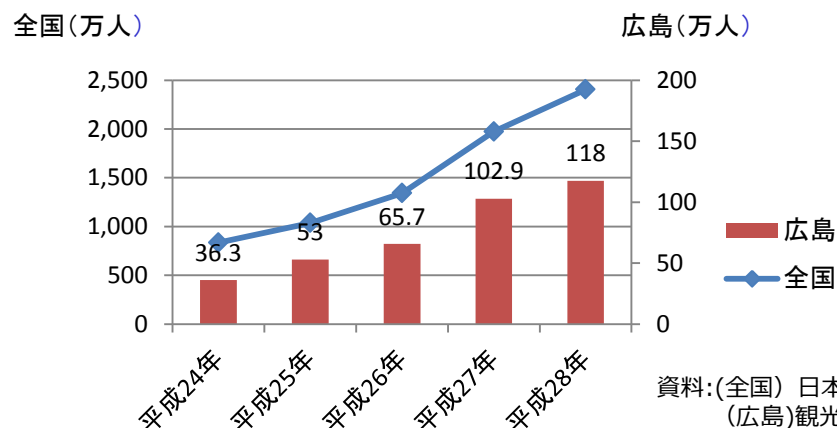
---

平成29年（2017年）6月16日

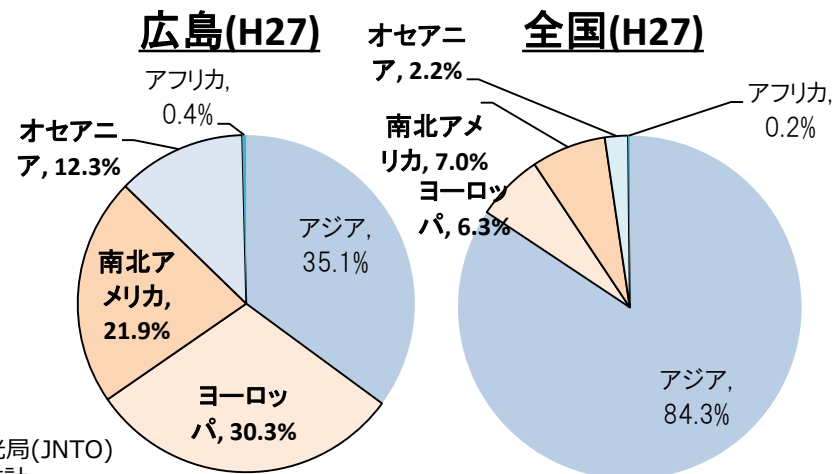
---

## ピースツーリズム推進に取り組む背景

- 本市を訪れる外国人旅行者は平成24年と比較して約3.2倍に急増している
- 欧米系の外国人旅行者の割合が多い



資料:(全国) 日本政府観光局(JNTO)  
(広島)観光政策部推計



- 特に昨年は4月のG7広島外相会合の開催や、5月27日のオバマ前米国大統領の歴史的訪問により、外国人旅行者は5月と6月に対前年比で大幅増となった

<平和記念資料館外国人入館者数>

5月 25,165人(H27)→38,831人(H28)(対前年度比53.4%増加)

6月 19,267人(H27)→30,151人(H28)(対前年度比56.5%増加)

資料:平和記念資料館

欧米系の外国人旅行者を中心に、「平和」をキーワードとして  
広島への注目、関心が高まっている

今後も多くの来訪が予想される

## 本市を訪れる外国人旅行者の動向

- 来広する外国人旅行者の約8割がJR広島駅を利用している

来広する外国人旅行者の利用交通機関

新幹線	航空機	自動車	船舶	その他
82.79%	7.63%	4.13%	0.84%	4.61%

資料：H27来広外国人観光客アンケート調査

- 世界的知名度のある「平和記念公園」が広島を訪れる際の第一目的地となっている

トリップアドバイザー 外国人に人気の日本の観光スポットランキング2017

1位 伏見稲荷神社（京都市）

2位 アキバフクロウ（東京都千代田区）

**3位 広島平和記念資料館（原爆ドーム、広島平和記念公園）**

- 平和記念公園を訪れる外国人旅行者の半数程度しか市内の他の施設に立ち寄っていない

- 本市での滞在は日帰りが約45%、1泊が約35%となっている。

市内での滞在

半日未満	半日	1日	2日	3日	4日以上
0.76%	0.98%	43.08%	35.31%	12.77%	7.10%

資料：H27来広外国人観光客アンケート調査

市内での立寄場所

（平和記念公園・平和記念資料館除く。複数回答）

場所	訪問率
広島城	42.98%
世界平和記念聖堂	39.24%
縮景園	17.77%
広島県立美術館	6.82%
ひろしま美術館	6.78%
三瀧寺	6.20%
広島市現代美術館	6.12%
河川遊覧船	5.54%
広島市植物公園	4.58%
お好み村・お好み共和国	4.09%

資料：H27来広外国人観光客アンケート調査

## ピースツーリズム推進事業について

### (1) 事業の目的

欧米豪の外国人旅行者を中心に、「平和」をキーワードとして今後多くの来訪が予想される中、原爆ドーム・平和記念公園だけでなく、市内の平和関連施設等に、より多く立寄っていただくための施策が必要である



平和記念公園やJR広島駅等を起点として、市内の主要な平和関連施設等（被爆建造物・樹木等）を巡るルートを検討する

## ピースツーリズム推進事業について

### (2) 取組の内容

#### ア 懇談会の設置

本市を訪れた外国人旅行者に平和への思いを共有していただくには、市内の主要な平和関連施設等を効果的かつ円滑に周遊していただく必要があることから、平和・原爆関係や観光関係の団体の代表者等から意見を聴き、ピースツーリズムの円滑な推進を図る

#### 〔委員構成〕

分野	所 属	職 氏 名
平和	広島県原爆被害者団体協議会	事務局長 前田 耕一郎
	広島市立大学広島平和研究所	副所長 水本 和実
	特定非営利活動法人ANT-Hiroshima	理事長 渡部 朋子
	特定非営利活動法人ひろしまジン大学	代表理事 平尾 順平
	被爆体験証言者 (平和記念資料館元館長、元国際平和担当理事)	原田 浩
観光	一般社団法人日本旅行業協会中四国事務局	事務局長 辻 孝和
	ひろしま通訳・ガイド協会	会長 古谷 章子
行政	広島市市民局国際平和推進部	部長 津村 浩
	広島市経済観光局観光政策部	部長 阪谷 幸春

#### 〔開催頻度〕

概ね月 1 回程度

## ピースツーリズム推進事業について

### イ ルート案の作成

本懇談会において、外国人旅行者に巡ってほしい平和関連施設等を洗い出し、各施設等への移動方法について検討した上で作成する。

(参考) 市内での利用交通機関

路面電車	バス	タクシー	アストラム ライン	レンタカー	その他 (船舶等)
46.19%	35.55%	15.22%	2.24%	1.36%	14.03%

資料: H27来広外国人観光客アンケート調査

レンタサイクルの利用希望

利用したい	利用しない	わからない
44.43%	29.60%	25.97%

資料: H27来広外国人観光客アンケート調査

**(参考情報)**

・類似事例 (例えば、ボストンのフリーダムトレイル)

## 《参考》 ボストン フリーダムトレイル

ボストンのダウンタウンを中心に独立戦争にまつわる史跡16か所を徒歩で巡るために全長4kmの赤いラインでつないだもの。

### ■ 事業背景

1951年地元ジャーナリストのウィリアム・スコフィールドにより考案され、ジョン・ハインズ市長がこの案を実行に移した。

### ■ 事業実施主体

●フリーダムトレイル財団 (FREEDOM TRAIL FOUNDATION)  
※1964年設立

●産官学民が連携したコンソーシアムが取締役会を構成し、運営をしている。

●実際の実務者担当者は4名程、パートタイム労働者等の数は不明。

### ■ 事業内容

フリーダムトレイル運営・管理に係る業務 (促進と保存)

▶ツアーコース上の16の施設を保存・活用

▶教育プログラム

▶マーケティング

▶プロモーション (広報活動)

観光案内所での情報提供協力※アメリカ合衆国国立公園局が設置。

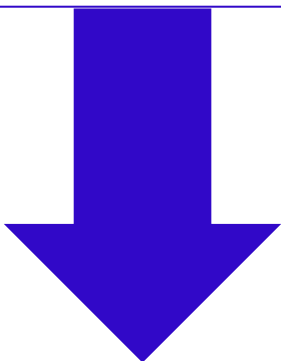
(ファニエル・ホール1階観光案内所内では、ツアーの実施、地図の無料配布、書籍の販売などを実施)



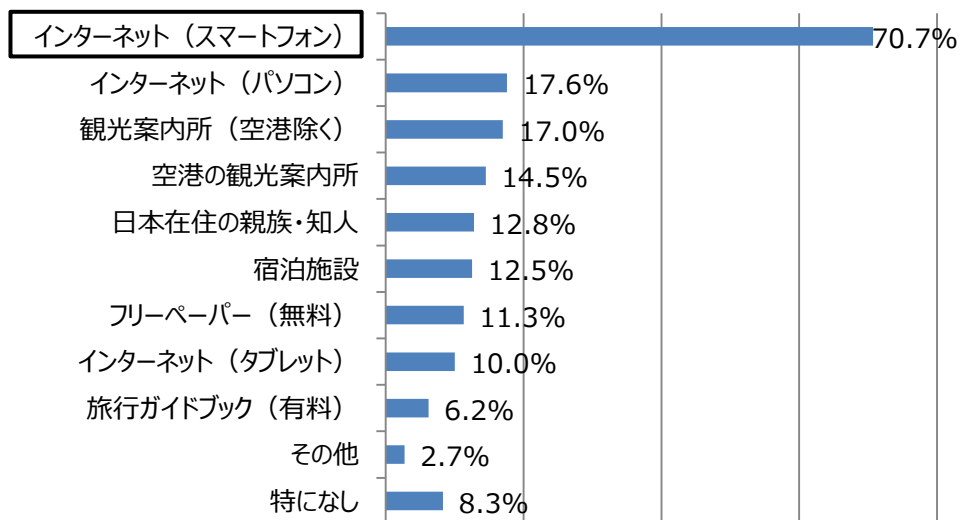
## ピースツーリズム推進事業について

ウ 平和関連施設等が有する意義や歴史的背景について、理解を深めてもらうための情報を伝達する環境を整備する

外国人旅行者の7割が訪日時にスマートフォンなどの移動式の情報端末を利用して情報収集しながら旅行をしている傾向がある



日本滞在中に得た旅行情報源で役に立ったもの（複数回答）  
（観光庁訪日外国人消費動向調査：平成29年1-3月期）



### ※ AR技術等を活用したスマートフォン等の情報端末による伝達

※ スマートフォン等を通して見た現在の風景に、過去の風景や解説案内の情報、各施設に円滑にたどり着くための道順などを重ねて映し出す技術

## 《参考》 ARについて

### (1) ARとは

Augmented Realityの略で「拡張現実」のこと

何かをきっかけにして情報を呼び出し、現実の世界に情報を重ね合わせること

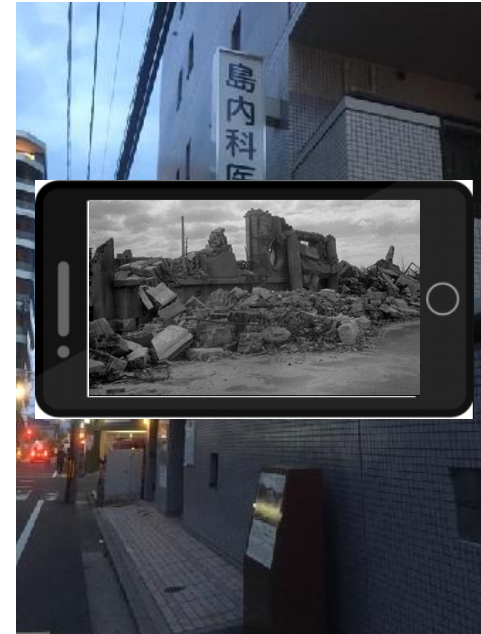
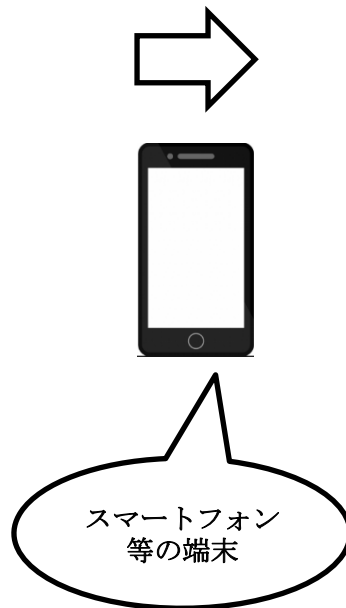
### (2) 機能

スマートフォン等の情報端末を活用し、特定の地点で被爆直後の写真等の情報を表示する。例えば、島内科医院（当時の島病院）に行き、スマートフォンをかざすと爆心地の風景の上で、カメラを通して被爆直後の様子と説明を見ることができる。

下右図のスマートフォンの画面は、島内科医院の被爆直後の様子を表示したもの（イメージ図）



爆心地



被爆後の写真  
撮影者：林 重男

被爆直後の写真との重ね合わせ

## 第1回ピースツーリズム推進懇談会の意見交換テーマ

- (1) 外国人旅行者を対象に「平和」をテーマとしたルート設定等に取り組むことへの思い
- (2) 外国人旅行者に巡ってもらい、広島を思いを共有していただける平和関連施設等の提案
- (3) その他意見交換

## 次回懇談会の日程

**7月24日の週(24日(月)～28日(金))の午後を予定**

**後日、事務局から日程調整の連絡**